

第〇学年〇組 学級活動(2)指導案(略案)

1 題材名

SNSによる適切なコミュニケーションについて考えよう。

2 本時のねらい

SNSによるいじめの動画を視聴し、その対処の仕方について話し合うことを通して、文字のみのやりとりが友人関係に影響を与えてしまう場合があることに気付かせ、相手の立場を考えて、SNSを使用することができるようにする。

3 準備

群馬県ネットリテラシー動画教材①「インターネットやSNSの特徴を知り、便利なコミュニケーションツールとしてかしこく活用しましょう～加害者にならない～」(影バージョン) ※DVDまたは、YouTube (URL:<https://www.youtube.com/watch?v=mTayx8mIdis>)、SNSに関するアンケート結果、ワークシート

4 本時の展開(45分計画)

	活動の内容	指導上の留意点	評価方法
つかむ	(1) 事前アンケートの結果をもとに、本時の課題を把握する。	・ SNSに関するアンケート結果について説明する。実態に応じ、全国的なデータを使用することも考えられる。	
17分	(例)・ SNS上に悪口を書き込まれ、勝手に自分の写真を掲載された。 ・ SNS上のグループ内でトラブルになり、グループを外された。 ・ SNS上のやりとりで、書かれた内容を勘違いし、相手とトラブルになった。等		
つかむ	(2) 本時のめあてをつかむ	・ めあて：「SNSを使うときに大切なことを考え、自分が気を付けることを決めよう」	大型映像機器を使用してDVDを一斉に視聴したり、個人端末でYouTube映像を視聴したりする。
	(3) ネットリテラシー動画(影バージョン：約9分)を視聴する。	・ 視聴後に、「主人公はどうすべきだったか」について話し合うことを伝えておく。 ・ 動画視聴後に、ワークシートを配布し、考えを書く時間を取る。(3分)	
さぐる・見付ける	(4) トラブルの原因や解決する必要性について話し合う。 (5) 解決策を話し合う。	・ 5・6人程度の班ごとに話し合わせる。 ・ 実態により、動画の場面を指定して話し合せてもよい。 ・ グループ用ワークシートに班でまとめた意見を記入させる。 ・ 「発言の履歴が残る」「文字情報のみで誤解が生じることがある」など、対面との違いを示して考えさせてもよい。 ・ 「SNSのトラブルをSNSで解決する」という話し合いに終始している場合は、対面のコミュニケーションについても話し合うよう助言する。	・ 仲間はずれに同意する場面 ・ 送られてきたメッセージを見ながら、葛藤する場面 ・ 学校で、相手を仲間外れにし、心苦しく思う場面、等
20分	(6) 各班の発表を聞く。 (7) 今後の自分の行動を決める。【意思決定】	・ SNSを利用する際の留意事項をワークシートに記入させる。 ・ 現在利用していない生徒は、将来利用する状況を想定させる。 ・ 単なる感想に終わらないよう、具体的な目標を立てさせる。	【思考 判断 表現】 ・ 話し合いを踏まえ、自分に合った具体的な実践方法や目標を立てている。 <観察、ワークシート>
決める	(例)・ SNS上で人の悪口を言わない。悪口に同意せず、やめるように働きかける。 ・ SNSに頼りすぎず、直接相手に思いを伝える対面でのコミュニケーションを大事にする。 ・ SNS上で心配なことがあったときには、早めに大人に相談する。		
8分	(8) 先生の話聞く。	・ 自分で立てたSNS利用の目標を意識して生活すること、対面における、互いを大切にしようコミュニケーションの大切さについて話す。 ・ 県のインターネット上の誹謗・中傷相談窓口について周知するとともに、困ったときには、家の人や先生など、信頼できる大人にできるだけ早く相談するように話す。	

5 その他

- ・ 本指導案は、動画の「影バージョン」のみを視聴する展開であるが、2時間計画として、次時に「光バージョン」を視聴することも考えられる。
- ・ 学級活動の授業としてではなく、道徳の授業として構想することも考えられる。(動画を見た上で、主人公の心情や行為について議論する、等。)

第〇学年〇組 学級活動(2)指導案(略案)

1 題材名

SNSを安全に使用するために注意すべきことを考えよう。

2 本時のねらい

SNSによる情報流出に端を発した被害に関する動画を視聴し、その対処の仕方について話し合うことを通して、写真等の投稿により、個人が特定され、犯罪被害に遭う場合があることに気付かせ、安全に注意してSNSを使用することができるようにする。

3 準備

群馬県ネットリテラシー動画教材②「インターネットやSNSの特徴を知り、広い世界とつながるツールとして活用しましょう～被害者にならない～」(影バージョン) ※DVDまたは、YouTube (URL:<https://www.youtube.com/watch?v=2XewOQn5MHI>)、SNSによる犯罪被害に関する調査結果、ワークシート

4 本時の展開(45分計画)

	活動の内容	指導上の留意点	評価方法
つかむ 15分	(1) SNS等による犯罪に関する調査結果をもとに、本時の課題を把握する。 (2) 本時のめあてをつかむ (3) ネットリテラシー動画(影バージョン:約9分)を視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> 子どものSNS被害に関する新聞記事や警察庁の統計資料などを用いて説明する。(「SNS学識別(学校種別)被害児童数の推移」、「被害児童数が多いサイト」等) めあて:「SNSを安全に使用するために自分が注意することを決めよう」 視聴後に、「主人公は、どうすべきだったか」について話し合うことを伝えておく。 動画視聴後に、ワークシートを配布し、考えを書く時間を取る。(2分) 	
さぐる 見付ける 20分	(4) トラブルの原因や解決する必要性について話し合う。 (5) 解決策を話し合う。 (6) 各班の発表を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6人程度の班ごとに話し合わせる。 実態により、動画の場面を指定して話し合わせてもよい。 グループワークシートに班でまとめた意見を記入させる。 一度拡散された写真等をインターネット上から完全に削除することはできないことについて話し、「GPS機能の設定」「どこに相談したらよいか」など、話し合いの視点を与えてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「制服を着た写真を送ってよ」と言われた場面 いろいろな写真を要求された場面、等 <p>SNSのやりとりは、トラブルが周囲に気付かれにくかったり、夜遅くに行われるため、相談が遅れたりすることが多い傾向があると伝える。</p>
決める 10分	(7) 今後の自分の行動を決める。【意思決定】	<ul style="list-style-type: none"> SNSを利用する際の留意事項をワークシートに記入させる。 現在利用していない生徒は、将来利用する状況を想定させる。 単なる感想に終わらないよう、具体的な目標を立てさせる。 	<p>【思考 判断 表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いを踏まえ、自分に合った具体的な実践方法や目標を立てている。 <p><観察、ワークシート></p>
	(例) SNS上で安易に個人情報(氏名、住所、家族情報、顔写真など)を公開しない。 SNS上のやりとりで心配なことがあったときには、なるべく早く信頼できる大人に相談する。		
	(8) 先生の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 顔の見えないネット上で、無防備なまま面識のない人と関わることは、相手が悪意を持っている場合には格好の標的になってしまうため、自他の安全を守ってSNSを利用することが大切であると話す。 県のインターネット上の誹謗中傷相談窓口について周知するとともに、困ったときには、家の人や先生など、信頼できる大人にできるだけ早く相談するよう話す。 	

5 その他

- 本指導案は、動画の「影バージョン」のみを視聴する展開であるが、2時間計画として、次時に「光バージョン」(約5分)を視聴することも考えられる。
- ネットトラブルの指導としては、群馬県中学生非行防止プログラム2「ネットトラブルについて考えよう」(URL http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?page_id=75)の活用や参考資料として、「インターネットトラブル事例集2021年度版(総務省)」の活用等が考えられる。

第〇学年〇組 学級活動(2)指導案(略案)

1 題材名

インターネットに依存せず、適切に使用するために必要なルールについて考えよう。

2 本時のねらい

ネット依存に関する動画を視聴し、その対処の仕方について話し合うことを通して、インターネットの長時間利用等の依存が学校や家庭での生活に影響を与えてしまう場合があることに気付かせ、決められたルールの意味を正しく理解したり、自分が気を付けるルールを決めたりして、ネットを適切に使用することができるようにする。

3 準備

ワークシート、群馬県ネットリテラシー動画教材③「インターネットやSNSの特徴を知り、学びや表現の場として活用しましょう。～依存しない～」(影バージョン)※DVDまたは、YouTube (URL:<https://www.youtube.com/watch?v=O7hBbGNE6Xg>)、インターネットの利用に関するアンケート結果 (SNS、オンラインゲーム、ネット動画、等)、

4 本時の展開(45分計画)

	活動の内容	指導上の留意点	評価方法
つかむ 15分	(1) 事前アンケートの結果をもとに、本時の課題を把握する。 (2) 本時のめあてをつかむ	・学校で定めたインターネットの利用ルールに関するアンケートを用いることも考えられる。 ・めあて：「ネットに依存せず、適切に使用するために必要なことを考え、自分が気を付けることを決めよう」	
	(例) ・ SNSのやりとりを毎日行っていた結果、成績が下がり、家の人と言い合いになった。 ・ オンラインゲームを夜遅くまでしているせいで、朝起きられずに遅刻してしまった。 ・ ネット動画をたくさん見ているせいか、最近、目が悪くなった気がする。等		
	(3) ネットリテラシー動画(影バージョン：約7分)を視聴する。	・ 視聴後に、「主人公は、どうすべきだったか」について話し合うことを伝えておく。 ・ 動画視聴後に、ワークシートを配布し、考えを書く時間を取る。(2分)	
さぐる 見付ける 20分 決める 10分	(4) トラブルの原因や解決する必要性について話し合う。 (5) 解決策を話し合う。 (6) 各班の発表を聞く。 (7) 今後の自分の行動を決める。【意思決定】	・ 5・6人程度の班ごとに話し合わせる。 ・ 実態により、動画の場面を指定して話し合わせてもよい。 ・ グループ用ワークシートに班でまとめた意見を記入させる。 ・ インターネットの使用に関わるルールの意義や必要性を確認した上で、「ルールの内容」や学校や家庭における「ルールの決め方」など、話し合いの視点を与えてもよい。 ・ SNS、ネット動画、ゲーム等、各自の課題に関してワークシートに記入させる。 ・ 自己の課題に沿って実現可能で、自己評価できる内容になるよう、「何を、いつまで、どのくらい、どのように」を意識させて、具体的な目標を立てさせる。	・ 母親のクレジット情報を用いて、オンラインゲームの課金をする場面 ・ 歩きスマホをしていたり、食事中にスマホをいじったりしている一連の場面、等 【思考 判断 表現】 ・ 話し合いを踏まえ、自分に合った具体的な実践方法や目標を立てている。 <観察、ワークシート>
	(例) ・ オンラインゲームは1日〇時間以内。 ・ 食事や会話中にはSNSを使用せず、家族の会話を増やすようにする。 ・ ネット動画は1日〇時間以内の視聴とし、空いた時間に外で体を動かすようにする。		
	(8) 先生の話聞く。	・ ルールの意味を正確に理解し、新たな場面でも正しい行動がとれるような考え方や態度を身に付けることの大切さを伝える。 ・ 自分が意思決定したことを確実に実践しているかどうか、3週間程度、自己評価カードに記入していくことを説明する。 ・ 自分で決めた目標を、家の人に伝え、協力してもらうことも有効であると伝える。	

5 その他

- ・ 児童会や生徒会と連携し、学校で決められている端末の活用ルールから「利用時間」「健康」等を取り上げ、自校のルールについて話し合うことも考えられる。
- ・ ネット依存の指導としては、群馬県中学生非行防止プログラム2「ネットトラブルについて考えよう」(URL http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?page_id=75)の活用や参考資料として、「インターネットトラブル事例集2021年度版(総務省)」の活用も考えられる。
- ・ 保護者向けとして、保護者会等で動画を視聴(「影」「光」：計14分)することも考えられる。